

平成25年度 第3回 岡山市子ども・子育て会議

平成25年12月25日(水) 午後2時30分～

岡山市勤労者福祉センター 4階 大会議室

開会

・ 局長挨拶

・ 成立確認

委員21名中19名出席にて、過半数を充足し成立を確認。

議事

・ 資料確認

議事進行は会長

・ 傍聴許可 17名

・ (新) 岡山市子ども・子育て支援プラン(仮称)について

事務局説明

資料1 (新) 岡山市子ども・子育て支援プラン(仮称)(平成27年度～31年度)
～構成イメージ～

資料2 ～(新) 岡山市子ども・子育て支援プラン(仮称) 構成案～

資料3 (新) 岡山市子ども・子育て支援プラン(仮称) 主な記載イメージ

会長 質問は何かあるか。

委員 資料2の4基本理念(2)「親・家庭」「地域」「事業者」の役割とあるが、学校園がないのはなぜか。

資料2の3岡山市のこれまでの取組と課題において、ニーズ調査を含め、と説明されていたが、働いている保護者へのニーズ調査はあるが、これから働きたい人のニーズはこれから検討していくのか。

また、予防的な措置として0～2歳の乳幼児やその保護者への対応は課題に入っているのか。

事務局 心豊かな岡山っ子育てプランでは学校園も1つの行政としてとらえている。心豊かな岡山っ子育てプラン8ページの2に基本理念として「親・家庭」「地域」「事

業者」の役割とあるが、行動計画としての役割としては「親・家庭」「地域」「事業者」を明記しているものである。二つ目の質問についてだが、働きたい人のニーズについての調査は現段階では考えていない。三つ目の質問についてだが、在宅の乳幼児やその保護者への支援や対応としては、資料3にある地域子ども・子育て支援事業①の地域子育て支援拠点事業に盛り込んでいく。このときにご意見等をいただきたい。

会長 岡山っ子育て条例の4ページでは、学校園の役割が詳しく書かれているが、心豊かな岡山っ子育てプランでは、学校園は行政の一部であるとして、役割には書かれていないということだが、新しいプランで学校園の役割をどうするかを今後検討していけばいいと思う。

委員 ニーズ調査についてだが、国からのニーズ調査票の案のひな型があると思うが、それはしなくていいのか。

事務局 今年、国から提示はあった。その内容をほとんどカバーする形で昨年7月にニーズ調査している。足りないものについては今後カバーしていきたいけれども、先ほど事務局が申し上げたように具体的な方法については現時点では定めていない。国から提示されたものについてはおおよそニーズ調査を行なった。今後これを活用して進めていきたい。

委員 またそのニーズ調査の結果の資料がどれにあたるのか教えてほしい。

事務局 学校園についての補足ですが、心豊かな岡山っ子育てプランの10ページ、11ページのところで、6つの柱の中で自ら学び考える力・豊かな心の育成支援とあり、さらに12ページでは細かくなってくるが、教育に関するところが、色濃く出ており、プランの中に学校園の役割が全くないというわけではない。役割という記載がここでははっきりと学校園となく、学校園は行政の役割の中に含まれているものと考えており、役割としては先ほどのプランの8ページの「親・家庭」「地域」「事業者」として明記している。

会長 事務局としては新プランにおいても基本理念の役割において、学校園の役割はこのところにおいては、載せる予定はないということですね。

事務局 ニーズ調査の結果の資料については、子ども・子育て支援に関するアンケート調査報告書として発表している。昨年（平成24年）7月に5,000世帯を対象

にアンケートし、11月に報告書としてまとめている。そのほかの取り組むべきものについては今後検討して参りたい。

事務局 アンケート調査の対象は無作為抽出で行なった。家で子育てをされている方も含めたアンケートの対象となっている。国の出すひな型でも家で子育てされている方のみを対象としたアンケートというものはなかった。国のアンケートと異なるのは認定こども園に入りたいかどうかという具体的な施設の名称が出ているところで、昨年行なった関係で、岡山市が行なったアンケートでは認定こども園がはっきりとイメージされていなかったもので、幼稚園、保育園で入りたいところはありませんかという内容で、家で子育てされている方へのアンケートを行なった。無作為抽出なので一部だけではあるがそういった方もアンケート調査の対象に含まれている。ひな型と言われているのが、就学前の子ども・子育て支援事業計画をたてるアンケート調査である。ここで話しているのがもっと大きく30代半ばまでを含めたものとなっている。委員さんが懸念されている、家で子育てをしている人をどうするかというのは当然、次世代の計画に入っている。アンケート調査を次世代の中でみるのか、子ども子育て支援事業計画でみるのか。特に幼保連携型認定こども園は家庭の子育てを担当する義務を負うことになっており、地域の拠点となったところが家庭を訪問したり、相談を受けることになっている。幼保連携型認定こども園は家庭での子育てを支援する働きを担っている。岡山市の基本方針として、公立はもちろん、たくさんの方に幼保連携型認定こども園になってもらうため、まったく施設を利用をしていない方々に手を差し伸べられるような、家庭で孤立している人に手を差し伸べることができる制度として、幼保連携型認定こども園が担うことができるので、そういった方々をお救いできればと事業を進めている。全く家で子育てしている人を考えていないわけではない。これから働きたい人だけを抜粋してアンケート調査を行なうことは非常に難しい。その辺も含めてこれから対応等はしていきたい。

会長 心豊かな岡山っ子育てプラン8ページでは基本理念として「子ども・若者の自立と子育てを社会全体で応援するまち」とあるが、学校園が子育てしたり教育したりすることは当然だ、学校園だけでなく、社会全体で応援しようというスタンスの基本理念なので、あえて学校園は役割には入っていないのではないかと私は解釈した。新しいプランでもこのスタンスで行ってはどうかというのが事務局の提案である。

事務局 次回の開催について1月29日（水）午後からお願いしたい。

委員 この会議は途中退席は可能なのか。

事務局 はい。

委員 議事録についてだが、行政側の説明が「説明」だけで終わっているの、中身も議事録としてあげてあると、どんな方向で会議が向かっているのか、市民にわかりやすいのではないかと。また委員の個人名が議事録であがっている。他の審議会にも参加させてもらっているが、個人名が出されるような議事録がアップされる時はアップされる前に、この表現でのせていいか、委員のところに伺いが来るようになっている。この岡山市の子ども・子育て会議において議事録の扱いについてどう考えているのか教えていただきたい。説明のところは大事なところなので、外に向けて発表してもらいたいというのが要望である。

事務局 ホームページの立ち上げも遅れており、大変申し訳ない。説明についてだが、これまで資料の説明が多かったの、説明の文言は書かずに資料としてみていただくという形で、ホームページでは説明として書くだけで内容を書いてなかった。委員の個人名についても今後検討させていただきたい。

委員 心豊かな岡山っ子育てプランについて、他の委員からの意見があったが、他の方々の意見を聞くと、こちらも考えることができる。会議については、今日だけのことで終わるのでなく、会議への意見があれば、会議以外で岡山市のほうへ委員が意見を伝えてもいいか。

事務局 （新）岡山市子ども・子育て支援プランについては策定前に市民の方々にパブリックコメントをとって、広く意見を聞いて、策定していく予定。この子ども・子育て会議では、その中の市町村支援事業計画について、委員の方々から意見をいただくことになっており、全体のプランへの意見というのは市民の方から違った形でいただけると考えている。

会長 委員は事前に資料が送付されるので、それに目を通して、できるだけこの会議での発言していく、その他の意見についてはパブリックコメントを利用して個人としての意見を述べるという形でいくということだが、どうか。

委員 この会議は色々な団体の代表者が来ているが、ここであったことを団体で話して、案が出た場合、事務局へ意見を言うことは可か。

事務局 この会議の中で、委員の意見として今後伺う。

委員 色々な団体の代表が来ているということで、会議であったことを組織へ持ち帰って、みんなと話し、検討したりするとは思いますが、まとめたものをこの会議以外で直接、事務局へ報告するのはフェアではないし、わかりづらいと思う。会議での発言について意見を申すのはこのパブリックな会議でした方が、相互理解も深まり、わかりやすいと思うのだが。

委員 資料を事前に読んで会議には臨んでいるが、事務局の説明を聞いて初めてわかることもある。そういった場合に、会議のあとに団体に持ち帰って、意見をまとめ、次の会議のときに、(次第の)その他のところで、前の会議であったことについて質問等するのは可なのか。それも不可なのか。

委員 私も一人の委員として来ているので、できるだけこの場で意見を言うようにはしたいが、本当にこの会議の時間は短い。先ほど委員さんが言われていたように、この件について、次回のために、なにか意見がありましたら、と意見を言える場を設けてくれればよいと思う。

委員 資料が届いたのが、12月20日で今日この会議が25日にあり、届いた資料に目を通すだけでいっぱいいっぱい、団体の場で討議するのが厳しい。前は保育提供区域についての話で今回もその続きがでてくるのかなと思っていたが、今回の会議では全く違う話題であった。前回のことで団体で話し合ったことを話せる機会を設けてもらいたい。

会長 この場で決められることは決めて、今すぐに結論を出してもらっては困る、団体と相談してから決めたいというときは意見を言ってもらおうという形で、ここでの話し合いを大事にするというスタンスでよいか。

事務局 団員を代表として会議に来ている、との意見があったが、各団体の会長等のあて職だから来てもらっているわけではなく、各々の立場で来ていただいているのを基本としている。団体の意見をこちらが吸い上げられるよう、持ち帰ったことに団体から意見があれば、事前にペーパー等で委員の方々へお示しして、次回の会議の冒頭で団体からの意見へ回答をするなど工夫はしていきたい。できるだけ

くさんの意見をいただくのがこの会議の趣旨なので運営についても今後工夫していきたいと思う。

委員 話の流れに異論はないが、事務局の方が個人の立場で会議に来てもらうというところはどうかと思った。この会議での発言は出身の団体の意見として外部の方には受け取られると思うので、それぞれの立場を尊重していただけるような会の進め方をしてもらえたらと思う。

会長 この会議では、それぞれの立場からの思いをしっかりと語っていただく場にしていきたいと思っている。しかしみなさんの共通の目的は、岡山市の子どもたちのためにより教育、保育をしていこうという点は共通であるから、その方向に向かって、それぞれの立場で意見を言っていただき、合意を得ていくという会にできたらと思う。時間的なタイムスケジュールはあるが、時間にこだわることなく、回数にもこだわることなく、皆様の意見をしっかりと出してもらって、合意を得ていくという形で進めさせてもらいたいと思う。この件に関してはよいか。

(異議なし)

・閉会